

令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	確かな学力を育てる教育の推進				予算施策コード	ky02	
担当部局名	教育委員会	指導部	義務教育課	評価責任者	課長 小池 達士	連絡先	4802

1 施策の内容

施策の目標	令和2年3月に策定した「第3期愛媛県学力向上推進3か年計画」に則り、これまで成果のあった、県独自の学力調査の作成・実施や学力向上推進主任研修会の開催などを継続するとともに、本県の課題を克服する策を講じることで、学力向上への取組を推進する。「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を推進し、全国学力・学習状況調査において、引き続き全国上位の学力水準を維持することで、更なる学校教育の質の保証・向上を目標とする。
-------	---

これまでの取組み	<p>24年度に、学力向上システム構築事業を立ちあげ、28年度にかけて「愛媛県学力向上5か年計画」に基づき、各学校における検証改善サイクルの強化や教師個々の授業力の向上を図った。小中学校に設置した学力向上推進主任の資質向上のための研修や県独自の学力調査の実施により、各学校における組織的な学力向上の取組を支援した。さらに、教員の意識改革を図るため、全小中学校に対して、校長への電話連絡や学力向上推進主任との面談、効果のあった学校の取組紹介DVDの配付などを行うとともに、子どもたちの応用力を伸ばす学習プリントや、授業や宿題で利用できるドリル問題などの提供にも取り組んだ。5か年計画の最終年度となった28年度は、大学教授、PTA関係者、学校関係者等による「学力に関する検証委員会」を設置し、これまでの取組の成果を検証するとともに、今後の方針等について検討した。</p> <p>29年度は、「愛媛県学力向上推進3か年計画(第2期)」に則り、応用力強化シート及び基礎力強化シートを作成し、各教科の応用力向上や基本的な知識の定着等に取り組んだ。また、読書意欲の喚起や読書傾向の自覚を促し、読書活動を推進するため、小学4～6年の全ての児童に「みきゃん通帳(読書通帳)」を配付した。</p> <p>30年度は、引き続き、県学力診断調査等の実施や、応用力強化シート及び基礎力強化シートの作成、「みきゃん通帳」の配付などを行うとともに、県作成の「学習シート」を冊子にして放課後子ども教室等へ提供した。</p> <p>元年度は、大学教授、PTA関係者、学校関係者等による「学力に関する検証委員会」を設置し、「学力向上推進3か年計画(第2期)」の成果と課題を検証するとともに、今後の学力向上の取組方針等について検討した。また、学力向上推進主任研修会の実施により、各学校における組織的な学力向上の取組を支援した。</p> <p>2年度は、「第3期愛媛県学力向上推進3か年計画」に則り、本県の課題である中学生の英語力向上のため、英検3級受験対策講座(英語力向上講座)を開催するとともに、小学生の読書活動推進のため、小学4～6年の全ての児童に「みきゃん通帳(読書通帳)」を配付した。また、中学校理科基礎力強化シートや中学校英語応用力強化シート教材を作成・配付するとともに、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善リーフレットの作成・配付を行った。</p> <p>3年度は、1人1台端末の整備が完了する機会を捉え、学習の成果と課題の早期把握による個別最適な学びの実現や採点・集計業務の効率化による教員の業務負担軽減を図るため、日常のテスト、ドリル等を対象に含めた県独自のCBTシステムを開発し、試験運用を行った。</p>
----------	---

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	全国学力・学習状況調査における小学校の各教科の平均正答率合計の全国平均との比較	B	全国学力・学習状況調査における中学校の各教科の平均正答率合計の全国平均との比較							
選択理由	児童の学習状況を把握するため。	選択理由	生徒の学習状況を把握するため。							
算定方法	全国学力・学習状況調査の児童の教科に関する調査	算定方法	全国学力・学習状況調査の生徒の教科に関する調査							
成果と指標の関係	中	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	+	成果と指標の関係	中	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(ストック/フロー)	+

指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	%			%			千円					
元年度	102	103	101.0%	103	101	98.1%	107,452	21,672	1,387	84,393		44,929
2年度	102	0		103	0		70,732	14,275	1,412	55,045	35,643	25,042
3年度	102	102	100.0%	103	101	98.1%	165,266	122,823	1,412	41,031	135,862	33,275
4年度 目標値	102			103			4年度当初予算					
最終目標	102			103								

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	<p>県が県内全小中学校の学力向上推進主任に対し、研修会等を通じて学力向上に関する情報を提供する機会を設定したり、県学力診断調査を県内全小中学校で実施し、教科ごと、設問ごとの県の平均正答率等を市町教育委員会や学校に知らせるシステムを活用したりすることにより、児童生徒の一層の学力の向上が図られる。令和3年度に開発した県独自のCBTシステムを効果的に活用することで、学習の成果と課題の早期把握による個別最適な学びの実現や、採点・集計業務にかかる教員の業務負担縮減が図られる。</p>					
高い								
成果指標A		説明	<p>成果指標としていた授業理解度が全国学力・学習状況調査質問紙において算出できなくなったため、令和元年度より、愛媛県長期計画第3期アクションプログラムと合わせ、成果指標を「全国学力・学習状況調査における小学校の各教科の平均正答率合計の全国平均との比較が、平成30年度の実績以上」とした。直近の調査である令和3年度全国学力・学習状況調査においては、引き続き全国上位水準の学力を維持できている。これまでに成果の見られた取組の継承や県独自のCBTシステムの効果的な活用により、授業改善や個に応じたきめ細かな指導につなげ、更なる学校教育の質の保証・向上を図っていく必要がある。</p>					
成果動向	横這い							
成果向上余地	成果向上が可能							
成果指標B		説明	<p>成果指標としていた授業理解度が全国学力・学習状況調査質問紙において算出できなくなったため、令和元年度より、愛媛県長期計画第3期アクションプログラムと合わせ、成果指標を「全国学力・学習状況調査における中学校の各教科の平均正答率合計の全国平均との比較が、平成30年度の実績以上」とした。直近の調査である令和3年度全国学力・学習状況調査においては、引き続き全国上位水準の学力を維持できているものの、目標値を若干下回った。これまでの成果と課題の詳細な分析や県独自のCBTシステムの効果的な活用により、授業改善や個に応じたきめ細かな指導につなげ、更なる学校教育の質の保証・向上を図っていく必要がある。</p>					
成果動向	横這い							
成果向上余地	成果向上が可能							
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.03	順調・向上	成果向上余地	1.67	成果向上が可能		

今後予測される環境変化	<p>小学校では令和2年度、中学校では令和3年度に新しい学習指導要領が全面実施となるとともに、令和3年度から整備された1人1台端末を活用した授業実践が行われている。今後は、より一層ICTを効果的に活用することにより、個別最適な学びと協働的な学びの実現が求められている。</p> <p>全国学力・学習状況調査の教科に関する調査において、小中学校の理科及び中学校の英語は、3年に1回実施されることとなっている。また、国独自のCBTシステムを活用したCBT版全国学力・学習状況調査の教科に関する調査を、令和7年度以降に中学校から先行導入することとなっている。</p>
-------------	--

3 施策の今後の方向性

<p>直近の調査である令和3年度全国学力・学習状況調査において、小中学校ともに、全ての教科において平均正答率が全国平均以上(小学校10位、中学校9位)であり、引き続き、全国上位水準の学力を維持できているものの、低位層の児童生徒の割合が全国と比べてもほぼ同等であるという課題も見られる。</p> <p>愛媛の子どもたちに、生涯の学びを支える確かな基礎学力を身に付けさせるため、県独自で開発したCBTシステムのバージョンアップやCBTシステムと連動したアプリの開発・運用により、児童生徒の達成感と学習意欲の向上を目指し、児童生徒全体の学力の底上げをはじめとする本県の学びの課題を克服するため、予算の確保が必要である。</p>
--

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

										予算施策名				ky02	確かな学力を育てる教育の推進			
1 英語授業力強化推進事業費																		
		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R5)	コスト (単位：千円)		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果	順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	75.0	75.0	83.0	85.0	事業費計	0	2,505	2,505	3,081	評価	どの項目も目標値を上回り、一定の成果を上げることができた。言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成することについて、具体的な事例を交えてより分かりやすい周知を工夫することで、最終目標に向け、更に成果を向上させる。				
成果	+	70-	実績	0	81.0			国費		2,505	2,505	3,081						
			達成率	0.00%	108.00%			その他										
指標種類2	指標名称2	単位	計画	45.0	46.0	48.0	50.0	県費										
成果	+	70-	実績	44.7	46.7			事業費計	0	0	1,255	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3					
			達成率	99.33%	101.52%			国費		0	1,255							
指標種類3	指標名称3	単位	計画	6	8	9	9	その他										
活動	+	70-	実績	0	8			県費										
		初期	終期	事業の概要														
実施期間	R2	R5	小中高及び民間とが連携して、各学校での指導体制の構築と1人1台端末をはじめとするICT機器を効果的に活用した質の高い授業改善の推進に取り組み、英語担当教員の指導力及び児童生徒の英語の活用能力(聞いて話す力、読んで書く力など)の向上を図る。															
2 えひめICT学習支援システム活用事業費																		
		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果	横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画		101.7		-	事業費計	23,240	31,380	88,173	74,506	評価	1人1台端末の導入が完了する機会を捉え、日常のテスト、ドリル等を対象に含めた全国初となる県独自のCBTシステムの開発を行った。1月下旬には小5・中2を対象とした「CBT版県学力診断調査」を、2月下旬には小6・中1を対象とした「CBT版チャレンジテスト」を実施するなど、教育分野からもICT先進県としての役割を果たすことができた。				
成果	+	70-	実績		101.6			国費			88,173							
			達成率	-	99.90%			その他				74,506						
指標種類2	指標名称2	単位	計画		102.8		-	県費	23,240	31,380								
成果	+	70-	実績		101.0			事業費計	22,092	21,989	87,490	見直し方向性	方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等) 方向2 有効性改善 方向3 成果向上					
			達成率	-	98.25%			国費			87,490							
指標種類3	指標名称3	単位	計画		6		-	その他										
活動	+	70-	実績		6			県費	22,092	21,989								
		初期	終期	事業の概要														
実施期間	R3		日常のテスト、ドリル等を対象に含めた県独自のCBTシステムを開発・運用することにより、学習の成果と課題の早期把握、個別最適化された学びの実現に資する。また、テストやドリル等のCBT化により、教員の業務負担の大幅な縮減を実現し、教員が1人1人の児童生徒に密に関わる時間の創出につなげる。															
3 科学の甲子園ジュニア県代表選考事業費																		
		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果	横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり
指標種類1	指標名称1	単位	計画	95	95	95	95	事業費計	1,007	1,035	1,035	1,035	評価	中学生が学校代表チームを組織し、県大会で競い合うことで、科学好きの裾野を広げるとともに、成果を県内に周知することで、県内理数教育の推進に資する取組となっている。令和3年度は、感染拡大防止の観点から、オンライン開催(規模縮小)となり、参加チーム数の減少や例年実施していたアンケート調査が中止となっている。				
成果	+	70-	実績	90	0	0		国費										
			達成率	94.74%	0.00%	0.00%		その他	754	775	775	775						
指標種類2	指標名称2	単位	計画	55	55	55	55	県費	253	260	260	260						
活動	+	70-	実績	46	0	37		事業費計	893	0	576	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3					
			達成率	83.64%	0.00%	67.27%		国費										
指標種類3	指標名称3	単位	計画					その他	657	0	421							
			実績					県費	236	0	155							
		初期	終期	事業の概要														
実施期間	H25		理科、数学等における複数分野の競技に協働して取り組むことを通じて、県内の中学生が科学の楽しさ、面白さを知り、科学と実生活・実社会との関連に気付く、科学を学ぶことの意義を実感できる場を提供するとともに、全国大会出場チームを選考する。															

4 えひめ英語力向上特別対策事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	2成果低迷している	向上余地	2一定の成果向上余地あり			
指標種類1	指標名称3	単位	計画	50.0	50.0	50.0	-	事業費計	23,800	19,706	6,015	6,015	評価	チャレンジサマースクールについて、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小してオンラインで開催したため、計画値に達しなかった。					
成果 +	70- CEFR A2レベル相当以上の英語力を有する高3生の割合	%	実績	44.9	48.2		国費												
			達成率	89.80%	96.40%		その他												
指標種類2	指標名称1	単位	計画	230	230	230	230	事業費計	18,771	13,815	4,059	見直し方向性					方向1 このまま継続 方向2 方向3		
活動 +	70- 英語教育フェスタ及びチャレンジサマースクールの参加人数の合計	人	実績	265	102	153	国費												
			達成率	115.22%	44.35%	66.52%	その他												
指標種類3	指標名称2	単位	計画	70	70	70	70	事業費計	18,771	13,815	4,059	見直し方向性					方向1 このまま継続 方向2 方向3		
活動 +	70- 英語力向上講座で講師を務めた外国人の延べ人数	人	実績	79	33	103	国費												
			達成率	112.86%	47.14%	147.14%	その他												
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役	0.2	0.2	0.2	人件費							
	H29	R4	新学習指導要領の全面実施に向けた準備を進めるとともに、グローバル化が進化する社会において、英語による思考力・判断力・表現力等を高め、発信力の育成を更に強化することができるよう、R元年度まで実施してきた同事業の内容を精選し継続する。					人件費	1,362	1,354	1,210								

5 えひめスーパーハイスクールコンソーシアム開催事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	1成果向上余地が小さい			
指標種類1	指標名称1	単位	計画	2,200	2,200	2,200	-	事業費計	0	6,780	5,211	4,796	評価	令和3年度の本事業については、コロナ禍により、昨年度と同様オンラインで開催することとした。このことにより、当初計画していた人数より多くの参加者を得ることができ、事業目的も達成することができた。					
成果 +	70- 参加者数	人	実績	2,118	2,351		国費			2,774	2,353	2,285							
			達成率	96.27%	106.86%		その他												
指標種類2	指標名称2	単位	計画	50	50	50	-	事業費計	0	958	2,612	見直し方向性					方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等) 方向2 有効性改善 方向3 成果向上		
成果 +	70- 愛媛への愛着を持つ生徒の割合	%	実績	48	53.9		国費		479	1,306									
			達成率	96.00%	107.80%		その他												
指標種類3	指標名称3	単位	計画					事業費計				見直し方向性					方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等) 方向2 有効性改善 方向3 成果向上		
			実績				国費		479	1,306									
			達成率	-	-	-	その他												
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役		0.1	0.1	人件費							
	R02	R4	各事業指定校による成果発表や県立高校等の先進的な教育活動の報告及び意見交換等を通して、研究成果の普及と深化を図るとともに、主体的に学び地域課題の解決に取り組もうとする気運を醸成する。					人件費		677	605								

6 高等学校ICT活用授業改善推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	2一定の成果向上余地あり			
指標種類1	指標名称3	単位	計画		80	(R4は指標変更)	-	事業費計	0	0	28,557	17,490	評価						
成果 +	70- ICT教育支援員の配置が負担軽減につながったと回答した教員の割合	%	実績		91		国費				22,128								
			達成率	-	113.75%		その他												
指標種類2	指標名称1	単位	計画	25	27	30	-	事業費計	0	0	22,841	見直し方向性					方向1 このまま継続 方向2 方向3		
活動 +	70- 推進校における公開授業の回数(延べ)	回	実績	23			国費			22,841									
			達成率	-	92.00%		その他												
指標種類3	指標名称2	単位	計画	47	47	47	-	事業費計				見直し方向性					方向1 このまま継続 方向2 方向3		
活動 -	70- 教科指導・進路指導の改善に取り組んだ学校数	校	実績	47			国費												
			達成率	-	100.00%		その他												
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役			0.2	人件費							
	R3	R5	「授業改善推進校」10校が、大学入学共通テスト等への対応を踏まえ、生徒の多面的な力を引き出す授業や課題設定等とともに、生徒の学力の3要素を適切に評価する方法などの実践研究を通じて、ICTを活用しながら、新しい時代に求められる生徒の資質・能力の育成と向上に取り組む。					人件費			1,210								

7 えひめ高等学校全国募集促進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり			
指標種類1	指標名称1	単位	計画		90	150	-	事業費計	0	0	8,956	9,161	評価	新型コロナウイルスの影響により学校見学等への参加者が想定より少なかったが、PR方法等の改善や工夫により、一定の成果向上の余地がある。					
成果 +	70- 全国募集による入学者数	人	実績		70		国費				1,868	2,189							
			達成率	-	77.78%		その他												
指標種類2	指標名称2	単位	計画	50	62	-	-	事業費計	0	0	5,176	見直し方向性					方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等) 方向2 有効性改善 方向3 成果向上		
成果 +	70- 学校見学バスツアー参加者もしくは来県補助利用者のうち、実際の入学生徒の割合	%	実績	42.5			国費			1,864									
			達成率	-	85.00%		その他												
指標種類3	指標名称3	単位	計画	410,000	410,000	-	-	事業費計				見直し方向性					方向1 見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等) 方向2 有効性改善 方向3 成果向上		
活動 +	70- SNS広告の表示者数	人	実績	342,501			国費			3,312									
			達成率	-	83.54%		その他												
実施期間	初期	終期	事業の概要					人役			0.2	人件費							
	R3	R5	全国募集実施校のうち、特に地元自治体と強固な信頼関係を築き上げ、県外生徒の確保に熱意を持って取り組んでいる学校の活動を強力にバックアップし、小規模校の活発化及び地域活動の担い手の増加を図る。					人件費			1,210								

8 高校生おもしろ科学コンテスト事業費							指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果 順調である	向上 余地	2一定の成果向上 余地あり		
指標種類1	指標名称2	単位	計画	950	800	800	800	800	事業費計	1,266	1,274	1,274	1,274	評価 方向1 このまま継続 方向2 方向3 見直し 方向性	事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国費 その他 県費 人役 人件費	1,266 633 633 924 462 462 0.1 681	1,274 637 637 843 420 423 0.1 677	1,274 637 637 824 410 414 0.1 605	4成果順調である 向上 余地 2一定の成果向上 余地あり	4成果順調である 向上 余地 2一定の成果向上 余地あり			
成果 + 70-	コンテスト予選の参加人数	人	実績	787	721	731	達成率	82.84%	90.13%	91.38%													
指標種類2	指標名称3	単位	計画	100	100	100	100	100															
成果 + 70-	愛媛県児童生徒理科研究作品及び日本学生科学賞への出品数	点	実績	93	117	141	達成率	93.00%	117.00%	141.00%													
指標種類3	指標名称1	単位	計画	5	5	5	5	5															
活動 - 70-	問題作成委員会の開催回数	回	実績	5	5	5	達成率	100.00%	100.00%	100.00%													
実施 期間	初期	終期	事業の概要																				
H19	予定・見込があれば記入	R4	愛媛大学の協力を得て、科学コンテストを実施することにより、本県高校生の理数離れに歯止めをかけ、科学的な見方や考え方を養う。																				

9 英語ディベート・コンテスト開催事業費							指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果 横ばい	向上 余地	2一定の成果向上 余地あり		
指標種類1	指標名称3	単位	計画	80	80	80	80	80	事業費計	1,002	1,008	1,008	1,008	評価 方向1 このまま継続 方向2 方向3 見直し 方向性	事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国費 その他 県費 人役 人件費	1,002 1,002 1,002 989 989 0.3 2,042	1,008 1,008 1,008 489 489 0.3 2,030	1,008 210 210 1,815	3成果横ばい 向上 余地 2一定の成果向上 余地あり	3成果横ばい 向上 余地 2一定の成果向上 余地あり			
成果 + 70-	英語学習意欲が高まった生徒の割合	%	実績	82	82	83	達成率	102.50%	102.50%	103.75%													
指標種類2	指標名称1	単位	計画	268	291	316	341	341															
活動 0 スタッフ	向上委員又は実施委員をした英語教員数(延数)	人	実績	266	291	316	達成率	-	-	-													
指標種類3	指標名称2	単位	計画	100	100	100	100	100															
活動 + 70-	英語ディベートコンテスト参加人数	人	実績	134	130	117	達成率	134.00%	130.00%	117.00%													
実施 期間	初期	終期	事業の概要																				
H29	予定・見込があれば記入	R4	「英語ディベート・コンテスト」を開催するとともに、ディベート活動の指導法について実践的な研究を行い、その成果を県下に普及することによって、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることは、本県のグローバル人材育成に資する。																				

10 えひめ高校生次世代人材育成事業費							指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果 順調である	向上 余地	2一定の成果向上 余地あり		
指標種類1	指標名称3	単位	計画	45	45	45	45	45	事業費計	1,800	1,800	1,800	1,800	評価 方向1 このまま継続 方向2 方向3 見直し 方向性	事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国費 その他 県費 人役 人件費	1,800 1,800 1,800 1,741 1,741 0.1 681	1,800 1,800 1,800 1,015 1,015 0.1 677	1,800 1,068 1,068 605	4成果順調である 向上 余地 2一定の成果向上 余地あり	4成果順調である 向上 余地 2一定の成果向上 余地あり			
成果 + 70-	「えひめ高校生次世代人材育成事業」に参加した生徒の事業への評価	人	実績	35	36	37	達成率	77.78%	80.00%	82.22%													
指標種類2	指標名称1	単位	計画	10	10	10	10	10															
活動 + 70-	「次世代リーダー養成塾」参加生徒数	人	実績	11	11	10	達成率	110.00%	110.00%	100.00%													
指標種類3	指標名称2	単位	計画	50	50	50	50	50															
活動 + 70-	事後研修会等への参加全生徒数	人	実績	37	38	46	達成率	74.00%	76.00%	92.00%													
実施 期間	初期	終期	事業の概要																				
H28	予定・見込があれば記入	R4	将来を担う若者が集う「日本の次世代リーダー養成塾」に、県内の高等学校及び中等教育学校の生徒を入塾させ、国内及び国外から参加する高い志を持った生徒との交流を通して、世界的な視野で発想、思考、行動できる次世代のリーダーとなる人材の育成を図る。																				

11 高校生キャリア教育推進事業費							指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	2成果 低迷している	向上 余地	2一定の成果向上 余地あり		
指標種類1	指標名称3	単位	計画	80.0	80.0	80.0	-	80.0	事業費計	3,632	3,640	3,640	0	評価 方向1 休止・廃止 方向2 方向3 見直し 方向性	事業費計 国費 その他 県費 事業費計 国費 その他 県費 人役 人件費	3,632 974 2,658 1,285 328 957 0.1 681	3,640 978 2,662 834 290 544 0.1 677	0 978 2,662 839 324 515 0.1 605	2成果低迷している 向上 余地 2一定の成果向上 余地あり	2成果低迷している 向上 余地 2一定の成果向上 余地あり			
成果 + 70-	県内企業に就職した県立高校卒業生(全日制)の仕事に対する満足度		実績	79.9	81.2	81.8	達成率	99.88%	101.50%	102.25%													
指標種類2	指標名称1	単位	計画	65	65	65	-	65															
活動 + 70-	高校3年間にインターンシップもしくは大学等の体験学習に参加した生徒の割合	%	実績	64.1	58.6	35.5	達成率	98.62%	90.15%	54.62%													
指標種類3	指標名称2	単位	計画	100	100	100	-	100															
活動 + 70-	「キャリア・パスポート」の活用校の割合	%	実績	100	100	100	達成率	100.00%	100.00%	100.00%													
実施 期間	初期	終期	事業の概要																				
R1	予定・見込があれば記入	R3	全ての学校で、教職員の共通理解を図るためキャリア教育推進委員会を設置し、ポートフォリオ的な教材、いわゆる「キャリア・パスポート」を活用することで、PDCAサイクルの構築とキャリア教育の一層の充実を図る。										令和4年度以降は、本事業の内容を「高校生キャリアプランニング推進事業」に継承し、生徒一人一人の進学・就職に向けた主体的なキャリアプランニングを推進する。										

12 高等学校新学習指導要領手引等作成費							コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地が小 さい					
指標種類	指標名称	単位	計画	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	事業費計	国費	その他	県費	事業費計	国費	その他	県費	人役	人件費		
指標種類1	指標名称1	単位	計画	1	1	3	—	3	600	607	607	0	評価 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動を実施するためには、全ての高校等に各教科分の手引を配布する必要があることから、1,000冊とし、配布した。	見直し 方向性	方向1	休止・廃止				
成果 + 70-	作成委員会の開催回数	回	実績	3	3	2														
			達成率	300.00%	300.00%	66.67%														
指標種類2	指標名称2	単位	計画	1,000	1,000	1,000	—	1,000	600	607	607									
成果 + 70-	手引の配布冊数		実績	1,000	1,000	1,000			500	492	602									
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%														
指標種類3	指標名称3	単位	計画						500	492	602									
			実績																	
			達成率	—	—	—														
実施 期間	初期	終期	事業の概要																	
S58	R3		各高校(中等後期を含む。)が、R4から施行される新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程を編成し、創意工夫を生かした特色ある学校づくりをできるようにするため、R元は教育課程編成の手引を、R2は要録記入の手引を、R3は評価の手引を作成する。																	

13 高校生国際交流促進事業費							コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
指標種類	指標名称	単位	計画	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	事業費計	国費	その他	県費	事業費計	国費	その他	県費	人役	人件費		
指標種類1	指標名称3	単位	計画	0.03	0.03	0.0006	—	0.0006	1,339	1,364	1,364	0	評価 新型コロナウイルスの影響で、スピーチコンテストや交流活動がオンラインでの実施となったが、本事業を通しての異文化理解の促進やコミュニケーション能力の向上に一定の成果が見られた。	見直し 方向性	方向1	統合				
成果 + 70-	一人当たりの交流体験活動への参加回数	回	実績	0.014066331	0	0.0017168														
			達成率	46.89%	0.00%	286.13%														
指標種類2	指標名称1	単位	計画	1,000	1,200	700	—	700	1,339	1,364	1,364									
活動 + 70-	スピーチコンテスト参加生徒数	人	実績	1,400	0	553			1,196	0	159									
			達成率	140.00%	0.00%	79.00%														
指標種類3	指標名称2	単位	計画	130	110	15	—	15	1,196	0	159									
活動 + 70-	国際交流活動参加生徒数	人	実績	109	0	41			0.2	0.2	0.2									
			達成率	83.85%	0.00%	273.33%			1,362	1,354	1,210									
実施 期間	初期	終期	事業の概要																	
H27	R3		海外の高校生による日本語スピーチコンテスト国際大会の、本県での開催を機に、県立高等学校等の生徒がコンテスト出場者と様々な国際交流活動を行い、異文化理解を促進するとともにコミュニケーション能力の向上を図り、本県のグローバル人材を育成する。																	

14 グローバル人材育成推進事業費							コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	1成果なし	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
指標種類	指標名称	単位	計画	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標	事業費計	国費	その他	県費	事業費計	国費	その他	県費	人役	人件費		
指標種類1	指標名称2	単位	計画	80	80	80	—	80	5,690	8,018	4,818	6,182	評価 新型コロナウイルスの影響により留学が中止となったため、R3の「留学補助金」の支給はなかった。	見直し 方向性	方向1	統合				
成果 + 70-	留学支援金を支給した生徒数の合計	人	実績	15	0	0			5,690	8,018	4,818	4,818								
			達成率	18.75%	0.00%	0.00%														
指標種類2	指標名称1	単位	計画	4	4	4	—	4				1,364								
活動 + 70-	留学プログラムを作成し、文部科学省へ申請した学校数	校	実績		4	3			899	0	0									
			達成率	—	100.00%	75.00%														
指標種類3	指標名称3	単位	計画																	
			実績																	
			達成率	—	—	—														
実施 期間	初期	終期	事業の概要																	
H25	R3		文部科学省の「国際文化交流促進費(高校生国際交流促進費)」を活用した事業を実施することにより、本県の高校生に国際的な視野を持たせるとともに、海外留学の支援を行い、将来の愛媛の発展を支えるグローバル人材育成の推進を図る。																	

15 教科書採択事業費							コスト (単位:千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地が小 さい					
指標種類	指標名称	単位	計画	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	事業費計	国費	その他	県費	事業費計	国費	その他	県費	人役	人件費		
指標種類1	指標名称1	単位	計画	100	100	0	0	—	627	627	143	143	評価 令和3年度は、令和元年度の教科書検定に不合格となった、(株)自由社の「新しい歴史教科書」が、令和2年度に文部科学大臣の検定を経て、新たに発行されることとなったため、急速、当該教科書の調査研究を行い、採択権者に対し、選定資料により指導、助言又は援助を行った。	見直し 方向性	方向1	このまま継続				
成果 + 70-	選定資料を送付した採択権者の率	%	実績	100	100	100														
			達成率	100.00%	100.00%	—														
指標種類2	指標名称2	単位	計画	0	0	0	0	—	627	627	143	143								
成果 - 70-	需要数報告で文部科学省から誤り等を指摘された件数	箇所	実績	0	0	0			488	527	99									
			達成率	—	—	—														
指標種類3	指標名称3	単位	計画	4	2	0	0	—												
			実績	4	2	1														
			達成率	—	—	—														
実施 期間	初期	終期	事業の概要																	
S39			義務教育諸学校において使用する教科用図書の採択に関し、その適正な実施を図るため、採択の対象となる教科用図書について調査・研究し、採択権者に適切な指導、助言又は援助を行うとともに、教科書の需要数報告や公正確保のための調査等を行う。																	

4-3 事務事業管理シート（新規事業）

予算施策名 ky02 確かな学力を育てる教育の推進

1	えひめ版STEAM教育研究開発事業費	コスト (単位：千円)		4年度
		予算	事業費計	
国費				337
その他				
県費				15,783

2	高校生キャリアプランニング推進事業費	コスト (単位：千円)		4年度
		予算	事業費計	
国費				840
その他				
県費				1,804